

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費  
 1項 農業費  
 6目 農作物対策費

生産振興課(内線:7272)  
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) ブロッコリー戦略的出荷調整対策事業	1,700	0	1,700				1,700	
トータルコスト	3,314千円 (前年度 0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	JA、生産者との調整事務、貯蔵庫・市場等調査、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

ブロッコリーのより有利な出荷・販売方法を確立することによって、ブロッコリーの価格安定を図り、農家の経営安定につなげるため、価格低迷時の対応として出荷調整を行う場合、低温貯蔵庫に保管する場合の貯蔵経費等の支援を行う。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	事業内容	事業費	予算額	事業主体	補助率
ブロッコリー戦略的出荷調整対策事業	①低温貯蔵庫の出庫時の市場単価が、入庫時の市場単価プラス100円を下回った場合に保管料、運賃を支援 ・100円(上限)×20,000ケース (保管料、運賃)	2,000	1,000	各農業協同組合	1/2
	②低温貯蔵庫に保管中の事故品の補てん ・1,400円×20,000ケース×0.05 (入庫時の市場単価) (事故率)	1,400	700		
合計		3,400	1,700		

・事業実施期間  
平成22年度

3 これまでの取組状況、改善点

(新規)

- ・農家からの要望を受け、平成19年度から氷温庫を使った低温貯蔵試験を開始した。
- ・平成20年度、21年度は単県事業のアグリビジネスモデル創出支援事業を活用し、全農とつとりが試験を行い、ブロッコリーで1ヶ月程度低温貯蔵が可能なのことがわかった。
- ・平成22年度から本格的な実施にあたり、農業団体のリスク軽減を図るための体制の整備が必要となっていた。